



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月27日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス  
 コード番号 3635 URL <http://www.koeitecmo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,816	7.9	690	46.8	2,972	39.7	2,031	49.3
27年3月期第1四半期	6,320	△2.8	470	959.1	2,127	27.4	1,361	45.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,154百万円 (11.0%) 27年3月期第1四半期 1,941百万円 (304.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	23.21	23.16
27年3月期第1四半期	15.66	15.58

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	107,143	98,063	91.4	1,118.68
27年3月期	115,216	100,672	87.3	1,149.11

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 97,956百万円 27年3月期 100,591百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

当社は平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年3月期(予想)の期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

これは前回予想の期末配当金55円に換算しますと、20銭の増配となります。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「株式分割及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	△3.8	1,700	△48.4	3,500	△43.2	2,200	△47.7	21.05
通期	40,000	5.8	10,000	3.6	14,000	3.2	9,500	0.7	90.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は本日開催の取締役会において、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.2株の株式分割を決議しております。

これに伴い、平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）一、 除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	89,769,479株	27年3月期	89,769,479株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,205,206株	27年3月期	2,230,495株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	87,543,721株	27年3月期1Q	86,938,931株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

株式分割後の業績予想及び配当予想について

当社は、本日開催の取締役会において、株式分割に関して決議し、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を実施することとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に緩やかな回復を続けました。

ゲーム業界におきましては、当第1四半期の国内家庭用ゲーム市場は前年同期を下回りましたが、ネットワークを介してコンテンツを配信するデジタル販売が伸長を続けています。スマートフォンゲーム市場は、開発費の高騰や競争の激化など事業環境は厳しさを増しているものの、今後も拡大が期待されます。

このような経営環境下において、当社では経営方針「IPの創造と展開」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。IPの創造では、ガストブランドの「よるのないくに」(PS4、PS3、PS Vita用)など、新規IPを創出しております。IPの展開では、「三国志」シリーズ30周年記念事業を推し進め、シリーズ最新作「三国志13」(PS4、PS3、Win用)をはじめ、株式会社レベルファイブとのコラボレーション作品「妖怪三国志」(3DS用)など、様々なタイトルに積極的に取り組んでおります。さらに、オーケストラコンサートなどのイベントのほか、他業種や公的機関とのタイアップを拡充し、IPの価値向上を図ってまいります。収益面では、好調なリピート販売やデジタル販売に加え、株式相場や為替相場が堅調に推移したことで有価証券関連損益も伸長しました。これらにより、当社グループの当第1四半期業績は、売上高68億16百万円(前年同四半期比7.9%増)、営業利益6億90百万円(同46.8%増)、経常利益29億72百万円(同39.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益20億31百万円(同49.3%増)となり増収増益を達成しました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、第1四半期連結累計期間としては3期連続の増益で、経営統合以来最高の業績となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

**ゲームソフト事業 売上高 39億44百万円 セグメント利益 4億57百万円**

国内においては、「討鬼伝 極」(PS4用)、「信長の野望・創造 with パワーアップキット」(PS Vita用)、「新・ロロナのアトリエ はじまりの物語 ～アーランドの錬金術士～」(3DS用)をリリースし、好評を博しました。

海外では、「討鬼伝 極」(PS4用)、「戦国無双4-II」(PS4、PS Vita用)をアジア向けにリリースしました。また、当社グループが開発を担当した株式会社スクウェア・エニックスの「ドラゴンクエストヒーローズ 闇竜と世界樹の城」(PS4用)のアジア版が発売され、人気となっております。

デジタル販売では、「DEAD OR ALIVE 5 Last Round」(PS4、PS3、Xbox One用)の基本無料版累計ダウンロード数が全世界で350万を突破し、ゲーム内でのコンテンツ販売も伸長いたしました。また、PC用ダウンロードサイトSTEAMにて配信中の各タイトルも堅調に推移しております。好調なデジタル分野に加え、パッケージの新旧タイトルも着実に販売を伸ばしたことにより増収増益となり、第1四半期連結累計期間としては経営統合以来、最高のセグメント利益となりました。

**オンライン・モバイル事業 売上高 16億10百万円 セグメント利益 1億49百万円**

ソーシャルゲーム事業では、ダンジョン探索RPG「ぐるぐるダンジョン のぶニャが」、フォーメーションバトルRPG「信長の野望 201X」の2タイトルをリリースし、多くのお客様にお楽しみいただいております。「100万人」シリーズでは、「100万人の三国志」をコロプラへ、「100万人のWinning Post」をmixi及びTSUTAYA オンラインゲームへ提供し、マルチプラットフォーム展開をさらに強化したことに加え、「100万人の信長の野望」にて他社タイトルとのコラボレーションを推し進めた結果、堅調に推移しました。また、中国では「大航海時代V」のPCブラウザ版がリリースされ、順調な立ち上がりとなりました。

当社が開発・運営するコミュニティサイト「my GAMECITY」では、自社タイトルの「信長の野望 201X」に加え、サードパーティーのゲームを拡充し、会員数は75万人を突破しました。

オンラインゲーム事業は、各タイトルとも底堅く推移しております。

なお、新規タイトルの先行費用が発生したことから、減益となっております。

**メディア・ライツ事業 売上高 3億97百万円 セグメント損失 89百万円**

「ネオロマンス 20th アニバーサリーコンサート」、「ホテル de 戦国無双 in 品川 ～佐和山の章～」ほか各種イベントを開催し、好評を博しております。また、「100万人の金色のコルダ」をはじめとするソーシャルゲームも底堅く推移しました。

なお、第2四半期以降に発売を予定しているタイトルの開発費が先行して発生したことからセグメント損失が生じました。

**SP事業 売上高 4億49百万円 セグメント利益 1億71百万円**

パチンコ機「CR 三国志 ～英雄集結～」など3機種がリリースされました。パチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発が順調に進捗し、増収増益となりました。

**アミューズメント施設運営事業 売上高 3億58百万円 セグメント利益 23百万円**

収益力強化を狙い不採算店舗の退店を進めた結果、増益となりました。今後も更なる業務の効率化を図ってまいります。

**不動産事業 売上高 2億8百万円 セグメント利益 82百万円**

当社グループが保有する賃貸用不動産が堅調に稼働した結果、増収増益となりました。

**その他事業 売上高 31百万円 セグメント利益 5百万円**

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して80億72百万円減少し1,071億43百万円となりました。これは主に、売掛金が63億35百万円、投資有価証券が31億63百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して54億63百万円減少し90億80百万円となりました。これは主に、未払法人税等が25億82百万円、買掛金が19億8百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して26億8百万円減少し980億63百万円となりました。これは主に、利益剰余金が27億76百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が5億63百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月30日に公表した第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,958	10,945
受取手形及び売掛金	9,734	3,399
有価証券	1,924	869
商品及び製品	180	128
仕掛品	14	19
原材料及び貯蔵品	84	71
繰延税金資産	839	368
その他	2,283	6,246
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	27,007	22,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,081	13,256
その他(純額)	6,999	6,992
有形固定資産合計	20,080	20,248
無形固定資産		
のれん	677	580
その他	136	137
無形固定資産合計	813	717
投資その他の資産		
投資有価証券	65,893	62,729
退職給付に係る資産	271	291
繰延税金資産	268	276
その他	880	840
投資その他の資産合計	67,313	64,138
固定資産合計	88,208	85,105
資産合計	115,216	107,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,338	430
未払金	1,014	1,099
未払法人税等	2,849	266
賞与引当金	1,022	524
役員賞与引当金	258	53
返品調整引当金	18	9
売上値引引当金	527	508
ポイント引当金	15	14
繰延税金負債	0	0
その他	2,902	2,676
流動負債合計	10,949	5,583
固定負債		
繰延税金負債	2,873	2,776
その他	720	719
固定負債合計	3,594	3,496
負債合計	14,543	9,080
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	53,955	51,179
自己株式	△1,735	△1,716
株主資本合計	92,919	90,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,598	7,162
土地再評価差額金	△3,099	△3,099
為替換算調整勘定	2,642	3,206
退職給付に係る調整累計額	531	525
その他の包括利益累計額合計	7,672	7,794
新株予約権	80	107
純資産合計	100,672	98,063
負債純資産合計	115,216	107,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,320	6,816
売上原価	4,238	4,264
売上総利益	2,081	2,552
販売費及び一般管理費	1,611	1,861
営業利益	470	690
営業外収益		
受取利息	454	377
受取配当金	342	355
投資有価証券売却益	924	1,110
その他	118	477
営業外収益合計	1,839	2,320
営業外費用		
投資有価証券評価損	21	32
デリバティブ損失	125	—
その他	35	5
営業外費用合計	182	38
経常利益	2,127	2,972
税金等調整前四半期純利益	2,127	2,972
法人税、住民税及び事業税	340	330
法人税等調整額	426	610
法人税等合計	766	940
四半期純利益	1,361	2,031
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,361	2,031

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	1,361	2,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	666	△435
為替換算調整勘定	△84	563
退職給付に係る調整額	△2	△5
その他の包括利益合計	579	122
四半期包括利益	1,941	2,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,941	2,154

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	S P	アミューズメント施設運営	不動産	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,529	1,563	349	381	385	108	6,318	1	6,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	34	95	3	3	0	—	137	28	165
計	3,563	1,659	353	384	385	108	6,455	30	6,485
セグメント利益又は損失(△)	110	338	△13	115	△8	48	590	△12	577

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	590
「その他」の区分の利益	△12
のれんの償却額	△107
四半期連結損益計算書の営業利益	470

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	SP	アミューズメント施設運営	不動産	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,915	1,482	397	449	358	208	6,811	4	6,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	127	—	0	—	—	158	26	184
計	3,944	1,610	397	449	358	208	6,969	31	7,001
セグメント利益又は損失(△)	457	149	△89	171	23	82	794	5	800

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。
2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。
2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	794
「その他」の区分の利益	5
のれんの償却額	△96
営業外損益への振替高	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	690

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っていません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「その他事業」に含まれていた「不動産事業」について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

株式分割

平成27年7月27日開催の取締役会において、株式分割を行う旨の決議をしております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成27年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき1.2株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却し、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	89,769,479株
今回の分割により増加する株式数	17,953,895株
株式分割後の発行済株式総数	107,723,374株
株式分割前の発行可能株式総数	350,000,000株

(注) 株式分割後の発行可能株式総数は、分割以前と同数であり、今回の株式分割における定款の変更はありません。

3. 株式分割の日程

基準日公告日	平成27年9月15日
基準日	平成27年9月30日
効力発生日	平成27年10月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益	13.05	19.34
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	12.98	19.30